

藤岡市 議会だより

発行日 平成15年2月15日 発行 藤岡市議会 編集 藤岡市議会だより編集委員会 印刷 三和印刷株式会社
藤岡市ホームページ <http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

第21号



元日の妙義山

12月定例会の あらまし

定例会は、12月10日から12月19日までの10日間の会期で開催されました。

市長の給料の特例に関する条例の制定についてなど20議案、議員提出議案6件が提出されました。

10日〓本会議 会期の決定、議案11件を上程、即決。

11日〓総務常任委員会・経済建設常任委員会。

12日〓教務厚生常任委員会。

16日〓本会議 一般質問。

17日〓本会議 一般質問。

19日〓本会議 委員会付託・市長提出追加議案10件、議員提出追加議案5件を即決。

一般質問

藤岡南部土地改良事業に

ついて

冬木 一俊

問 今後の事業の予定をお伺いしたい。

答 平成14年12月より文化財調査を行い、順次、県が工事発注を行う予定となっております。次年度以降は20から30ヘクタールの面工事を実施し、早期完成を目指していく予定であります。

問 5・34ヘクタールの非農用地の買い上げ方法はどのような買い上げをするのが、具体的に伺いたい。

答 市開発公社あるいは市による直接買収による手法のいずれかによるものと考えております。現在、地元負担金相当部分については、農林漁業資金の借り入れを行っており、この借り入れ利息の支払い発生時期、つまりは工事完了届年度までには、いずれの方法により買収したいと考えて

ております。

義務教育期間における医療費無料化について

冬木 一俊

問 医療費無料化については、平成15年度に小学1年生から3年生まで、平成16年度に4年生から6年生まで、そして平成17年度に中学1年生から3年生までということでありましたが、再確認のため再度答弁していただきたい。

答 今までの考え方の方向で検討を進めているところでございます。

問 全診療を義務教育期間医療費無料化の実施に向けて、市民に対して言うこととやることが違わないよう、市長の考えをお伺いします。

答 公平・公正の観点からも慎重に検討した中で、財政上の調整及び負担を考慮し進めてまいりたいと考えております。

毛野国白石丘陵公園建設事業について

金子 勝治

問 公園整備事業及び、史跡整備事業について、今後の計画をお伺いしたい。

答 毛野国白石丘陵公園の面積、約30・1ヘクタールの内18・3ヘクタールを公園として整備し、平成15年度には用地買収と測量及び、不動産鑑定等を行い、取得した用地は整備するまでの間、予算の都合もあり除草を実施して、管理していく計画である。また、白石稲荷山古墳の用地取得は、平成19年に終了し、平成20年から史跡整備事業に着手していく予定である。

問 収蔵庫と展示部分の関係について、伺いたい。

答 平成15年度には郷土資料館を休館し、資料の分類や梱包作業をして、平成16年5月までに収蔵庫へ資料を搬入・展示する計画であり、その人件費は2年間で約1000万円を予定しているほか、展示室の内装や照明、展示ケース等で約6600万円を見込んでいます。

藤岡市の防犯対策について

金子 勝治

問 平成14年度の犯罪白書によると、加害者の集団化が激増していると、発表されているが、藤岡警察署管内の刑法犯件数や防犯対策について伺いたい。

答 平成4年度には882件だったが平成13年度には1519件と、10年間で1・7倍に増加した。今年11月末現在では2102件で、前年同期と比較して1・4倍の増加であり、防犯灯の増設や、区長会等によるチラシ配布や、小中学生によるポスターの応募等で、防犯を働きかけている。

問 防犯パトロールや警察官の増員或いは、交番の増設・移設等を、県警本部に要望するべきではないか。

答 警察官の増員や交番の増設は、藤岡警察署と協議し、要望に向けて努力したい。また、警察官OB等を含む防犯パトロール隊は、来年度の緊急雇用対策事業によって実施し、交番の駅前移動や案内標識による、犯罪抑止対策も、

協議したい。

ららん藤岡とクロスパークについて

松本 啓太郎

問 平成15年度に一般会計より約3000万円を支出する予定であるようですが、私は諸手を上げて賛成は出来ません。どのように改善されていくのですか。

答 ららん藤岡の運営費について負担金がいつまでとは、現時点では判断がつかない。基本的には株式会社クロスパークの会社経営にめどがついた時点で判断する。

問 直売所の手数料は最初は10%であったものが15%になった。そのまま今日まで来ている。他のほとんどの直売所が10%であることを考えると、早期に10%に近づけるよう努力をしていただきたい。

答 手数料の問題は運営主体である農業振興株式会社と、直売所利用者組合との話し合いにより決定される。本施設だけが15%という現状は好ましい状態にあるとは考えない。ららん藤岡全体の管理運営のあり方がまずあるかと思う。

問 農業振興株式会社の経営状況は。

答 手数料を10%から15%に値上げ後は黒字に転じています。利益分については生産者に還元するよう努力しているところですが。

小中学校の耐暑対策について

松本 啓太郎

問 30度C以上の日が6月は8日、7月は夏休みに入る23日まで16日あり、その中で35度C以上の日が5日あり、最高は37度C強です。教室内の温度は34度Cから35度Cの日もあつたようです。そこで耐暑対策は。

答 学校施設は、生徒の学習しやすい環境を整えることが必要です。教育方針で、生きる力を身につけさせるためには、暑さ・寒さの中で対応できるたくましさをもたせさせることも子供達にとりましては大切なことかと考えて



おります。近年の温暖化現象の中で、国の施策として、公立学校の環境に配慮し空調設備を導入するための補助金の新設が計画され、補助金の導入を図りながら、今後取り組みを考えております。

入札改革について

茂木 光雄

問 10月1日に実施された改革の現状と問題について。

答 問題の1点目として、予定価格を事前公表した結果、全体的に入札額が低くなっている。2点目の郵便入札も落札率が低くなっている。指名業者の競争性を高める為、数を増やす方向で検討したい。工事価格500万円以上の入札結果の市広報への掲載についても情報公開がされて良い事だとの声が聞かれている。随意契約については、その契約の目的を損なわないよう工事等、物件ごとに担当課との意見調整を十分行い、見積書を徴する方向で対応していきたい。コンサルタント業務についても、一社に偏る事の弊害が生じないよう出来る限り競争させる様配慮していきたい。

市民表彰制度創設について

茂木 光雄

問 本市出身者で各界で活躍し、又は、実績を残した人への表彰について。

答 本市においては、学芸体育の部門で功績顕著な者を表彰する教育長表彰が行われており、毎年多くの市民が受賞している。この表彰制度についても学校教育、社会教育及び学校体育、社会体育の部門で活躍された方にとっては大変な励みになっていると思われる。今後、市民の方が一定の活躍をされた場合に、その方の功績をたたえ広く市民に周知し、郷土意識の高揚に資する意味からも、色々な人の意見を聞きながら、検討していきたい。

一部事務組合負担金割合について

青柳 正敏

問 公立藤岡総合病院の負担率を70%から90%にした算出根拠と市民受益は何か、70%との差額2億4865万円

が市民の負担増になるが、70%に戻す努力をしないのか、病院の今年度赤字予測額が17億5600万円にもなるが少しでも軽減する様、市職員の賞与の一部を外来センターでの1泊2日人間ドック、脳ドック等の診察券として現物支給にしようと思うが、一部事務組合職員、同構成町村職員も含め赤字緩和を全員で考えるべきと思うが。

答 病院負担金増額による市民利益は他の行政と異なり同次元でとらえる事は不可能現時点で町村の財政事業を考慮すると負担率の見直しは困難と思う。人間ドックの診察券による公立藤岡総合病院での市職員の受診機会の拡大策を積極的に推進して行きたい。市職員の受診最善策が決定した後に各構成町村長に同様な措置で取り組む様積極的にお願いをしていきたい。

図書館のサービスについて

斉藤 千枝子

問 利用者の調査研究を援助するレファレンスサービスの充実を図って頂きたい。そ

れにより市民の皆様の学ぶ意欲の向上や豊かな精神生活、現実生活の支援ができるかと考えます。

答 情報化社会におきましては、よりサービスの向上が必要と感じております。体制の問題等ありますが積極的に取り組むということで職員に指示をしてみたい。

問 館内に利用者用のパソコンを設置しインターネットの無料サービスはできないものか。

答 他の利用者との関連や予算、施設のレイアウト等検討課題もあります。時代の要請をふまえ研究していきたい。

問 図書館で使われなくなった本を寄贈し病院に図書コーナーを設け利用していただくことはできないか。

答 使われなくなった本は古本市や、いろいろな措置を講じております。病院にも便宜が図れるよう検討してまいります。

公共工事について

笠原 史嗣

問 コスト縮減について何度か質問してきたが、今だ

入札改革について

笠原 史嗣

目に見えた縮減がない。土木建築工事の単価を見直さない限り定価に近い発注になり過ぎている。民間単価と公共単価の開きをなくす努力をすべきである。その為には民間単価を把握するようにしてコストを考えるべきだが、どのように考えているのか伺いたい。

答 関連工事の経費合算や他の部署との重複工事の防止等に努めると共に、入札制度の改革により公正で透明性のある入札を実施し、競争性を高める事でコストの縮減を図っている。又、単価の見直しによるコストの縮減は、内容が膨大で複雑なことから、現段階では藤岡市単独の単価設定は無理である。又、民間単価と公共単価については、民間単価を把握する事は多大な事務量と人手を要するので現段階では難しい状況であるが、公共工事のコストを下げる事は重要な課題であり、今後は予定価格をもとにした通常の入札方式のみでなく他の入札方法も取り入れて行く事で、公共工事にかかる費用を低く抑えていく事も検討する必要があると考えている。

問 条件付一般競争入札について、建築が5億円以上の工事で土木工事及びその他の工事は、おおむね2億円以上の工事とあるが、設定金額を引き下げて参加をしやすくし、競争してもらおう方が効果が得られると思うが、どのように考えているか伺いたい。

答 要件を引き下げるべきであるという指摘に対して、内容については検討していきたい。又、条件付一般競争入札につきまして今年度から着手してスタートしてきましたので、まだまだ見直す所は多々あると思いますので、ご指摘を頂きながら、今後、大いに職員の間で研究していきたいと思っています。

精神障害者福祉について

坂本 忠幸

問 当市の精神障害者対策の現状をお伺いします。特に社会参加への道としての福祉作業所、グループホーム、ホ

ームヘルプ等、在宅対策について、又、当市の作業所の計画はあるのか、あるとすれば、いつごろ予定されているか。

答 精神障害者は当市に約500人いると思われる。ホームヘルプサービス事業所は、市内に5事業所、ショートステイは北群馬郡吉岡町の医療法人と契約している。グループホームは市外の医療法人の経営する9施設。福祉作業所は現在行っている、ふれあい交流会を発展させ平成15年4月1日に開所の予定。場所は一時的に心身障害者の作業所の後を検討中です。

問 心の病を背負った社会的弱者の社会参加の為、医療や相談及び福祉を備えた総合的作業所の設置をすべきと思うが、市長のお考えをお伺いします。

答 身体障害者、知的障害者福祉に対して精神障害者の制度は遅れている。今後、十分検討していきたい。

北藤岡駅周辺区画整理事業について

針谷 賢一

問 事業の見直しについて

の取り組み方を伺います。

答 景気低迷の影響で、当市に於いても税収の落ち込み地方交付税の減少といった歳入不足に加え、過年度の起債事業に伴う公債費が増大し、一般財源が逼迫してきております。その為、概ね15年を目安とした地区を定め、整備を図る。また、今後について、段階的に区域全体92・7ヘクタールの事業推進を図るとともに、費用対効果の高い北藤岡駅周辺の南口駅前広場や北藤岡駅前通り線、森・立石線等の都市計画道路の整備に努めていきたいと考えております。

また、当分の間、事業が行われない地区について、規制の緩和また、用途の関係、建築の規制の関係、こういったものにつきましても県との協議の中で指導をしていただきながら進めたい。それから、地権者の皆様にもご理解を頂くよう説明会を持っていきたい。

ららん藤岡について

針谷 賢一

問 農産物直売所は、オープンして3年目となり、年々その販売実績を伸ばしており

ます。地域農業の振興の観点から、たいへんに期待出来る施設である。しかし、現在、特に土曜日・日曜日・祭日等は非常に出荷量も増加し、置き場を争うような状態で、施設が手狭であるとの苦情を組合員の方からよく耳にいたします。この様な現状に対し、何らかの対策をする予定があるのか伺います。

答 売り場面積が手狭な状況となっており、施設そのものの改修につきましては、市が実施すべきものと思っております。このため、生産者・消費者、双方の便宜を図るべく、現在、花卉、鉢物類の販売スペースの増設を検討しておりますが、予算的な問題もございまして、できるだけ早い段階で実施できればと考えております。

市民プールについて

三好 徹明

問 設計発注前の議員説明会で、各議員が指摘した内容をどのように基本設計に反映したのか伺います。

答 省エネルギー化、見学ロビーの設置、駐車場の確保、

障害者の対応等を反映いたしました。

問 更衣室とエントランスやプール内の温度差が激しくシャワーの使い勝手も悪い。駐車場の出入口も出る時に危険である。

答 指摘のように、天候のよい時はいいのですが、天候の悪い時など利用者からも苦情が出ています。対応策についてコンサルや請負業者に検討を要請しております。

問 天候に左右されるお天気任せの25億円の温水プールでは、市民は納得いたしません。自己採点するとしたら何点ですか。

答 アンケートや利用状況等から判断した場合、70%と考えております。

市の公文書について

三好 徹明

問 平成13年3月1日、前塚本昭次藤岡市長より私宛に送付された藤岡二ユースに對する抗議文書と、その中の「脅迫」とも取れる内容に對し私が出した撤回要求書の取り扱いについて、新井市長に伺います。

答 市長印が押された問題の文書を読んでみますと、表現などから大変誤解を招くものと感じました。また平成13年3月6日付けで三好議員から送付されました「市民の代表としての藤岡市長の」とるべき言動とはとも思えず、撤回と陳謝を求めるとの市長に對する陳謝要求に對し藤岡市長が1年9ヶ月を経過した今日まで、何の回答もしないまま至つてしまい、三好議員には長きにわたり多大なご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。今後は私の誤解を招くような文書の発行、また、事務の引継ぎ等に漏れがないよう十分な配慮と注意を払つて参ります。

平成15年度予算について

佐藤 淳

問 平成15年度予算編成の基本方針について伺います。

答 既存の事務事業や、あらゆる経費の節減合理化を図り財政の健全化に向けた取り組みを行い、市民が必要とするサービスの充実に努めてまいります。

問 平成15年度予算に計上する市税の予定額を伺います。

答 前年比5億6219万円マイナスの6億8811万円を見込んでおります。

問 来年度より約3000万円の花の交流館運営費負担について本当の理由を伺います。

答 市が藤岡クロスパークの債務に對し損失補償契約を結んでおり藤岡クロスパークの経営は、開業以来赤字続きであり、平成13年度決算では約6700万円の累積赤字となつており、このままの状態で行きますと会社経営に必要な資金繰りが困難となり、資金ショートが発生し、会社経営の危機、すなわち必然的に藤岡クロスパークが倒産してまいります。

地域医療について

吉田 達哉

問 公立藤岡総合病院が急性期型病院に変わった事により、長期間の治療を要する患者が完治しない状況で退院を余儀なくされるケースがあります。退院後の受け入れ先について伺います。

答 治療の終了した患者の転院先は、市内外でおよそ40ヶ所の施設と連携を図つて対応していますが、まだまだ受け入れ先については困窮しているのが現状であります。

問 地域連携室をつくり、退院後治療を必要とする患者や家族が安心できるよう病院や施設を紹介するシステムを作るはずが、いまだに整備できていません。今後どうするか伺います。

答 藤岡多野医師会をはじめ、地域の老人福祉施設や訪問看護ステーション等の関係機関と十分連携をはかり、一人一人の市民が健やかに暮らせる医療環境の整備に努めていきます。

問 転院先がなく退院し自宅療養せざるをえない患者が介護保険の適用を受けようとしても限界があり、家族の負担が増すばかりです。地域医療を担う体制を責任ある立場でどのように整えていくのか伺います。

答 総合的なシステムを構築する為には、医療・介護保険・福祉の分野が一体となつた連携が不可欠であり、医師会等の協力を得ながら医療対

策協議会と協議を重ね地域医療システムの構築を目指してまいります。

行財政改革について

吉田 達哉

問 行財政改革実施指針を策定した考え方を伺います。

答 税収が減り、地方交付税も減額となる中、歳出の削減を図ることにより、収支のバランス及び経常収支比率を適正に保つよう効率的な行財政運営を図るものであります。

問 行財政運営を担う職員意識改革について伺います。

答 市民が何を求め、何を期待しているのかを考え、市民福祉の向上を図っていく為に既成概念を捨て、職員一人一人が目標に向かって努力します。

◎掲載してある一般質問は要約してありますので、詳しくは藤岡市のホームページや図書館・市役所相談室で会議録(2月末発行予定)をご覧ください。

議 案 等 審 議 結 果 (12月定例会)

番 号	件 名	結 果
市長提出議案		
諮問 2 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	異議なし(全員一致)
第 7 2 号	市長の給料の特例に関する条例の制定について	可決(多 数)
第 7 3 号	藤岡市水道事業給水条例の一部改正について	可決(全員一致)
第 7 4 号	工事請負契約の締結について	可決(多 数)
第 7 5 号	市道路線の認定について	可決(全員一致)
第 7 6 号	字の区域の廃止について	可決(全員一致)
第 7 7 号	平成14年度藤岡市一般会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 7 8 号	平成14年度藤岡市国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 7 9 号	平成14年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 8 0 号	平成14年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 8 1 号	平成14年度藤岡市簡易水道事業等特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)
第 8 2 号	藤岡市職員の給与に関する条例の一部改正について	可決(多 数)
第 8 3 号	藤岡市議会の議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決(多 数)
第 8 4 号	藤岡市長・助役及び収入役の諸給与と条例の一部改正について	可決(多 数)
第 8 5 号	藤岡市教育委員会教育長の諸給与と支給条例の一部改正について	可決(多 数)
第 8 6 号	藤岡市企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について	可決(多 数)
第 8 7 号	群馬県市町村総合事務組合規約の変更について	可決(全員一致)
第 8 8 号	平成14年度藤岡市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
第 8 9 号	平成14年度藤岡市介護保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)
第 9 0 号	平成14年度藤岡市学校給食センター特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
第 9 1 号	平成14年度藤岡市下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決(全員一致)
議員提出議案		
第 4 号	藤岡市議会議員の各種委員会委員への就任制限に関する決議案について	可決(全員一致)
第 5 号	群馬大学教育学部の存置に関する意見書の提出について	可決(全員一致)
第 6 号	遺伝子組み換え食品の表示に関する意見書の提出について	可決(全員一致)
第 7 号	藤岡市議会議員定数条例の制定について	否決(少 数)
第 8 号	藤岡市議会議員定数条例の制定について	否決(少 数)
第 9 号	藤岡市議会議員定数条例の制定について	可決(多 数)
請 願		
第 1 号	群馬大学教育学部の存置に関する意見書の提出について請願	採択(全員一致)
第 2 号	「遺伝子組み換えイネ」を学校給食に使用しないこと、並びに、「遺伝子組み換えイネ」を食品及び飼料として承認しないよう国への意見書提出を求める請願	不採択(多 数)
第 3 号	遺伝子組み換え食品の表示に関して国への意見書提出を求める請願	採択(全員一致)
陳 情		
第 9 号	群馬大学教育学部の存続を求める陳情	採択(全員一致)
動 議		
	副議長青柳正敏君不信任の動議	可決(多 数)

市議会を傍聴しよう

議会は3・6・9・12月の定例会と随時の臨時会が開かれます。

傍聴希望者は、市民相談室へ申し込んでください。

問い合わせは市議会事務局
(☎1211 内線2361)へ

委 員 長	青 木 寛	副 委 員 長	松 本 啓 太 郎	委 員	金 井 俊 壽	冬 木 一 郎	反 町 喜 博	片 山 喜 博	齊 藤 千 枝 子	中 村 菊 雄
-------	-------	---------	-----------	-----	---------	---------	---------	---------	-----------	---------

新しい年を迎え、皆様にとつて、より良い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。本年4月には統一地方選挙、そして知事選が行われ選挙の年となります。

12月定例会においては、12名より一般質問が行われましたが、最終日には自然閉会となりました。

当編集委員会は、今後とも活動状況をわかりやすく、情報提供に努めてまいります。

